

【社会保険労務士法人 大槻経営労務管理事務所】

配信登録をいただきまして、誠にありがとうございます。
大槻事務所のメールマガジンをお送りいたします。

2013年1月号

* ☆

【目次】

- ▼新年のご挨拶
- ▼大槻事務所スタッフのおすすめの〇〇（第5回目） 安藤 晋也編
- ▼大槻事務所だより 1月号
- ▼無料セミナー案内 2月開催（日程が決まりました）

▼新年のご挨拶

創立40周年を迎えます

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。

さて、昨年の世相を表す漢字は「金」でした。たぶん「カネ」ではなく「キン」と読むのでしょうか。

「金」といえば、1986年に昭和天皇の在位60周年を記念して10万円金貨が鋳造されたことを覚えているでしょうか。この10万円金貨は1,000万枚ほど造られたらしく、額面にして1兆円が市中に出回っていることになります。使われた純金は1枚につき20グラムですから、2億グラムになる計算です。

また、その当時の金の相場が約1,900円ですので、ほかの合金を足したとしても原価はせいぜい3,900億円くらいでしょう。下世話な話しで恐縮ですが、当時の中曽根首相はこれにより6,100億円という利鞘を生んだことになるわけです。

衆院選で自民党が圧勝し、政権与党となりましたが、安倍内閣にどんな景気回復の秘策があるのか・・・
安倍首相が掲げる金融政策「安倍（アベ）ノミクス」に期待するところです。

ところで、大槻事務所は 1973 年 10 月に創立以来、本年をもちまして「40 周年」の佳節を迎えることになりました。これもひとえに皆様方のご支援とご厚誼の賜物と心より感謝申し上げます。

2013 年も皆様方への感謝の想いを忘れることなく「50 年」、「60 年」を目指して精進してまいり所存でございます。より一層のご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

所長 寺田 晃

▼大槻事務所だより

1 月号の特集は「遺族年金とは？」です！

<http://www.otuki.org/index.php?act=vol46>

▼大槻事務所スタッフのおすすめの〇〇（第 5 回目）安藤 晋也編

メールマガジンをお読みいただいている皆様、あけましておめでとうございます。

新しい年が始まり、皆様いかがお過ごしでしょうか。

2013 年最初の「大槻事務所スタッフのおすすめの〇〇」にお付き合いいただければと思います。

私のおススメは、「サイクルロードレース観戦」です。

私がサイクルロードレースに出会ったのは、大学生の頃でした。

皆さんも「ツール・ド・フランス」というレースはご存知の方も多いかと思いますが、私も大学生の頃にツール・ド・フランス（当時、日本人が初出場しました）を通してサイクルロードレースに出会いました。

当時は民放の放送局で中継されており、たまたま深夜にTVを見ていたという、何気ないことがきっかけでした。途中、疎遠になった時期もありましたが、今もハマり続けております。

まず、サイクルロードレースについて簡単に説明しますと、公道を自転車で走って、順位やタイムを競います。簡単に言うと、マラソンを自転車に変えてチーム戦にしたものですが、駅伝とは違い、選手は交代で走るのではなく、全員一斉に走ります。その為、規模の大きなレースになりますと、1 度に

約 200 名の選手が同時に走ることもあります。1 日に走る距離は 100~200km くらいで、1 日だけのレースや約 1 ヶ月近く続くものもあります。

私は、かれこれ 10 年くらいサイクルロードレースを観戦しておりますが、なかなか奥深いものがありますので、今回は私自身が観戦し始めた頃を思い出しながら、3 つの楽しみ方をおすすめしたいと思います。

1. 景色を楽しむ

まずは「景色を楽しむ」です。主にヨーロッパで行われているサイクルロードレースを観戦しますと、街並みや田舎の風景、またアルプスやピレネーに代表される山々の景色を楽しむことができます（私は海外旅行の経験が少ないので今でも楽しんでいます）。

2. シンプルにレース楽しむ

ルール等を考えずにシンプルにレースを楽しみます。私は駅伝やマラソン、車のレースを観戦することが元々好きでしたので、複雑なことを考えずに楽しんでいる時期もありました。

3. 選手やルールをおぼえて、チームの戦略を考えながらレースを楽しむ

レースにもよりますが 100~200 名の選手が出場しますので、選手をおぼえるだけでも大変です。ルールはそれほど複雑ではないのですが、大人数で走るレースなので、少し独特のものがあります。また、レースによって少し異なる場合もあります。チームの戦略というのが非常に難しく、私も中継を見ながら、実況・解説の話を聞いて少しずつ理解をしました。

1 と 2 は、観戦してもらえれば、すぐに楽しめると思います。3 は、奥深いと申し上げたところになるのですが、観戦しながら解説を聞いたりしていると少しずつ理解できると思います。難しいかもしれませんが、そういうことが分かった上で観戦すると見方も変わって楽しめると思います。

今回、特に私がおすすめするのは、今年 100 回目を迎えるツール・ド・フランス（6~7 月頃開催）です。ここ数年は日本人も毎年出場していますので応援し甲斐があると思います。もし興味を持たれた方がいらっしゃいましたら、3 月以降になると有力選手が多数出場する様々なレースが（ほぼ毎週！）ありますので、そこで選手やルールをおぼえたり、チーム戦略の理解を深めて、ツール・ド・フランスまでの間に「楽しみ方 3」へ到達できるように、準備をしていただくといいと思います。

（レースの日程等は<http://www.cyclowired.jp/?q=node/92208>をご参考ください。）

と、おすすめしてきましたが、実は私はまだ生でレースを見たことが無いのです。見たいレースは

ヨーロッパで行われているため、現地に行って観戦することが夢です。日本でもレースが行われておりますが、秋の宇都宮で行われるレースには有名な選手も多く出場するので、まずは宇都宮のレースを見に行ってみたいと思っております。

体を動かすことが好きな方は、観戦だけでなく、自転車で走るのもよいかもしれません。私も始めたいと思いながら何年も経ってしまいました。

観戦するのも、実際に自転車で走るのも、どちらも楽しいので、新年を迎えて何か始めようという方に、おススメしたいと思います。

〈安藤 晋也 プロフィール〉

1976年東京都出身。2003年11月入所。社労士ダイレクト担当。

▼無料セミナー案内 2月開催（日程が決まりました）

タイトル 労働基準監督署の臨検対策
～社会保険労務士が教える監督官に指摘されやすいポイント～

開催日時 2013年2月14日（木） 14:00～16:00

場所 大槻事務所 8F

対象 経営者・人事担当者

募集人員 24名

受講料 無料

担当 特定社会保険労務士 武澤 健太郎

概要

あなたは、労働基準監督署の臨検が入った際のリスクをどれだけ認識できていますか？

労働基準監督署の臨検は、突然やってきます！！

未払い賃金が指摘され、数千万円のお支払が必要になることも・・・

そこで、まずは、貴社のリスクをあらかじめきちんと認識したうえで、

